

平成 28 年 1 月 17 日

南の風 168

南部ミニバスケットボール連盟
会 長 藤原 敬一

4のポストとの合わせのプレイについてです。

代表的なものを4つ紹介します。

1つ目はシザースプレイです。シザースプレイは、アウトサイドスクリーン的一种です。トップから右ウイングにパスしたとします。ウイングからポストへのパスインと同時に、ウイングがポストマンの左に自分のディフェンスをぶつけるようにカットします。その時にトップにいたプレイヤーも、ポストマンの右にカットします。この形がシザース（鋏）に似ているので、シザースプレイと呼びます。ポストマンは、ノーマークになった方のプレイヤーにハンドオフパスします。入らない場合は、ターンシュートしたり、リプレイスした選手にリロケーションパスしたりします。

2つ目はポストからウイングのバックドアカットへの合わせです。例えば、トップから右ウイングへパスします。リターンパスをトップへ返した時に、ポストマンがローポストから右エルボーへフラッシュします。トップはポストにパスインです。その瞬間空いたスペースへ、ウイングがバックドアカットで合わせます。ポストマンはすかさず、バウンズパスを出します。トップからいきなり、バックドアカットしたウイングへのパスも可能です。

3つ目はピック&ロールです。ポストマンがガードプレイヤーのディフェンスにインサイドスクリーンを掛け、ミスマッチを狙うプレイです。トップポジションから右ハイポストへパスインします。トップのプレイヤーはフェイクを入れてから、リターンパスを受けます。ポストマンはトップのプレイヤーにスクリーンを掛けます。ユーザーとなったトップのプレイヤーは、スクリーナーとなったポストマンにブラッシングするようにドリブルします。スイッチしてきた場合は、ミスマッチとなったスクリーナーにパスしてシュートを狙います。この場合オフボールマンの3人はサイドに寄って、コート中央に十分なスペースをつくるのが重要です。相手ディフェンスの対応によって（ファイトオーバーやスライド、ショウアップなど）オプションプレイを選択します。例えば、ディフェンスがファイトオーバーで付いてきた時は、トップのプレイヤーはスクリーンと逆の方向にドリブルカットインします。こうして裏を突くプレイをすると効果的です。

4つ目はダブルポスト（ハイロー）の合わせです。初めにポストのポジション取りについて紹介します。この南の風でも取り上げましたが、ポジション取りの基本は『直角ポスト』です。ボールに対して直角にポジションを取ることで、ボールが入り易くなります。形はワイドボディーというスタンスです。そしてパッサーに対して、ターゲットハンドを示しアイコンタクトすることを忘れないようにします。バンブからリバースターンをしたり、スイングストローク（サイディングから守られた場合の腕を使った身体の入れ方）のスキルを使ったりしてポジション取りをします。自分のお尻をディフェンダーの太ももに押し当てるように密着することがポイントです。次にハイローの合わせの場合、ハイポストとローポストのプレイヤーとゴールが一直線になるようにします。こうすることで安全にパスが入るようになります。合わせのタイミングについては次号にします。